



令和 8 年 5 月 26 日

局所麻酔で行う胸椎内視鏡手術：徳島から世界へ

<報道概要>

徳島大学病院整形外科では腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症等の腰椎疾患に対して、低侵襲治療である局所麻酔下全脊椎内視鏡手術（full-endoscopic spinal surgery：FESS）を行っています。令和 7 年 10 月、胸椎疾患、特に胸椎変性疾患に対して本邦初の局所麻酔下 FESS を成功させました。以降、徳島大学病院と当科関係医療機関の阿南医療センターにおいて、同様の症例に対して積極的に治療を行っています。これにより、全身麻酔が困難な既往がある方や超高齢者に対しても、胸椎疾患の外科治療を提供することが可能になります。

胸椎疾患は頸椎や腰椎と比較して頻度が少なく、また肺などの重要臓器や肋骨の存在によるアプローチの困難さ、ならびに脊髄が近接していることから全身麻酔下でも手術の難易度は比較的高いと言われていました。局所麻酔下での胸椎疾患に対する治療実績を積み重ねることで、全身麻酔管理が困難であるため治療を断念せざるを得なかった患者さんの福音となることを目標としています。

お問い合わせ先

徳島大学病院整形外科

担当者 特任准教授 景山 寛志

電話番号 088-633-7239

メールアドレス kageyama.hiroshi[アット]tokushima-u.ac.jp

※メールを送信される場合には、[アット]を@に置き換えてください。